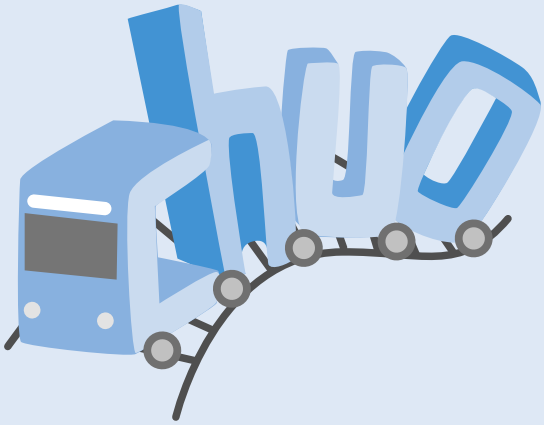
このロゴは札幌デザイナー学院　髙橋（たかはし） 友希（ゆき）さんの作品です

区民のページ「ちゅうおう」



2012 2

http://www.city.sapporo.jp/chuo/

温故知新～思い出の中央区

用事は区役所へ――

中央区役所スタート

四月一日から、中央区役所は他の六区役所と同時に仕事を開始しました。

市役所の本庁舎や地区出張所にかわって、今後は区役所が新しい行政センターとして、市民生活に必要な仕事を扱うことになりました。

"中央区駅"スタートの今号では、中央区役所の仕事を紹介してみました。

人口は七区の最大

中央区は、区名のとおり札幌市の中央に位置し、他の六区全部に接しています。面積は七区の中で一番狭いのですが、人口は約二十万人で七区最大、小樽市や室蘭市とほぼ同じです。

区内には、札幌の主要な官公庁や税社などが集まっています。

市役所本庁舎や北海道庁などの官公庁。市民会館、厚生年金会館、市立図書館、道立美術館、市立体育館などの文化施設。大通公園、円山公園、中島公園、旭山記念公園などのいこいの施設。そして、地下鉄、狸小路、駅前通りなどの商店街やデパートが集まっています。昼間は、オフィスで働く人や買物客などを吸収しますので、昼間人口はざっと三十万人にもなるといわれています。

用事は区役所へ

中央区役所は中央区南三条西十一丁目の市電車庫跡に建てられました。建物は日本住宅公団が建設した十三階建のビルの一部を買いとり、一階から三階までが区役所庁舎、四階以上は公団のアパートです。

区役所には、三月まで東北、東、中央、豊園、大通、豊水、西創成、西、南円山、幌西、曙、山鼻、北円山（小樽市は西区）、西陵（旧本庫は南）の各出張所で扱っていた仕事と税務事務所・福祉事務所の仕事が全部移されたほか、戸籍や国保など本庁の仕事の一部も移されています。

すなわち、区民に関する台帳や書類は全部区役所にあるといってもよいのです。ですから、区民の皆さんの市に対する用事は、区役所に行っていただくと、ほとんどが片づきます。

中央区役所の機構

区役所は、機構図のとおり総務部、税務部、土木部の三部と福祉事務所で構成されています。職員数は約四百十人です。

総務部は三課で構成しています。総務課は区役所の内部的な仕事や区の選挙管理委員会の事務をします。市民の声を聞く課（市民課）では、市民相談、苦情・要望の受付付処理、交通安全の推進、地区との連絡、広報さっぽろの区版編集や配付などを扱います。総合窓口課は戸籍や住民基本台帳、印鑑証明などの窓口をひとつにまとめた課です。

税務部は、従来の税務事務所の仕事をします。市民税や固定資産税の賦課や納税に関することです。

土木部には、管理課と土木事業所があります。管理課は道路・公園・運動場の臨時占用許可や水洗化資金の貸し付けなどを、土木事業所では道路や橋などの維持修繕や除雪の仕事をします。

福祉事務所は、従来の福祉事務所の仕事や、国民健康保険、子どもからお年寄りまでの社会福祉を担当します。

社会課は児童手当や児童扶養手当、成人式、老人対策、社会福祉団体関係の仕事などのほかに、第一と第二の勤労青少年ホーム、あけぼの保育園、福祉センター、母子寮の運営管理も行ないます。福祉課は福祉相談や生活保護関係を扱います。従来本庁舎で行なっていた国民健康保険と国民年金については、この課で仕事をします。

一階は総合窓口センター

区役所の入口は石山通り（国道二三〇号線）側、東向きです。

ごあいさつ

中央区長　小林信太郎（こばやししんたろう）

札幌市は四月一日指定都市に昇格し、区制を施行いたしました。名実ともに日本を代表する大都市の仲間入りをしたわけであります。

本年は、世紀の大事業である札幌オリンピック大会が、市民の協力により、大成功のうちに閉幕した記念すべき年であり、さらに一か月余をへて指定都市昇格となったことは、札幌市の洋々たる前途を象徴するものであろうと存じます。

この新たな出発にあたり、本市の中枢である中央区の発展を期待させていただくことは、誠に光栄であり、責任に身のひきしまる思いをいたしております。

ご承知のとおり中央区は、本市発祥の地であります。広漠たる原野を開拓して百余年、現在では高層建築が立ちならび、地下鉄が走り、地下街が華やかなムードをくり広げております。

中央区は、本市の商業・経済の中心地であり、この振興をはかることは、区内はもちろん、全市民の生活に大きなうるおい一番快いのですが、人口は約二十万人で七区最大、小樽市や室蘭市とほぼ同じです。

区内には、札幌の主要な官公庁や税社などが集まっています。

市役所本庁舎や北海道庁などの官公庁。市民会館、厚生年金会館、市立図書館、道立美術館、市立体育館などの文化施設。大通公園、円山公園、中島公園、旭山記念公園などのいこいの施設。そして、地下鉄、狸小路、駅前通りなどの商店街やデパートが集まっています。昼間は、オフィスで働く人や買物客などを吸収しますので、昼間人口はざっと三十万人にもなるといわれています。

をもたらすものであると存じます。

また区内には、敗戦からの由緒ある住宅街があります。地区生活環境を整備し、一層快適な日常生活を送れるようにすることも重要な課題であると存じます。

一方、公害・交通事故など大都市共通の悩みも少なくありません。また、都市のひずみともいうべき憂まれない人たちの福祉向上も大切です。

こうした問題を、ひとつひとつ着実に解決していくためには、まず、区民の皆さんと、ひざを交えて語りあうことが必要だと存じます。先人の苦労に「人の喜びをもって、我が喜びとする」とありますが、私も、この言葉を精神として区制にあたりたいと考えております。

どうかお気軽に区役所にお立ち寄りください。総合窓口センターをはじめ、約四百人の区役所職員は、区民の皆さんのために、全力で行政サービスに努める覚悟でおります。

▲広報さっぽろ中央区版の創刊号（昭和47年4月号）

４月で40歳の誕生日を迎える中央区。当時を知る人たちには懐かしく、若い人たちには新鮮な「まち」の風景を、一緒に振り返ってみましょう。

編集：中央区市民部総務企画課広聴係　〒060-8612 札幌市中央区南３条西11丁目
☎011-231-2400（内線224）　Fax011-231-6539

「中央区だより」ラジオカロスサッポロ（FM 78.1 MHz）毎週金曜午前11時30分～

人口	224,262人（前月比 ＋114）
男	101,553人　女　122,709人
世帯数	123,566世帯（前月比 ＋55）
	平成24年１月１日現在